

令和 3年1月28日 開会
令和 3年1月28日 閉会
(臨時第1回)

大山町議会議録

(副本)

大山町議会

大山町告示第 62 号

令和 3 年第 1 回大山町議会臨時会を次のとおり招集する

令和 3 年 1 月 22 日

大山町長 竹口 大紀

- 1 日 時 令和 3 年 1 月 28 日 (木) 午前 10 時
- 2 場 所 大山町役場議場
- 3 付議事件
 - 1) 議案第 1 号 令和 2 年度大山町一般会計補正予算 (第 14 号)
 - 2) 議案第 2 号 令和 2 年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算
(第 2 号)
 - 3) 議案第 3 号 令和 2 年度大山町介護保険特別会計補正予算 (第 5 号)

○開会日に応招した議員

森 本 貴 之	池 田 幸 恵
門 脇 輝 明	加 藤 紀 之
大 原 広 巳	大 杖 正 彦
米 本 隆 記	大 森 正 治
野 口 昌 作	近 藤 大 介
西 尾 寿 博	吉 原 美智恵
岡 田 聰	野 口 俊 明
西 山 富三郎	杉 谷 洋 一

○応招しなかった議員

なし

第 1 回 大 山 町 議 会 臨 時 会 議 録

令和 3 年 1 月 28 日（木曜日）

議 事 日 程

令和 3 年 1 月 28 日 午前 10 時 00 分 開会

1 開会（開議）宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 1 号 令和 2 年度大山町一般会計補正予算（第 14 号）

日程第 4 議案第 2 号 令和 2 年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）

日程第 5 議案第 3 号 令和 2 年度大山町介護保険特別会計補正予算（第 5 号）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（15 名）

1 番 森 本 貴 之	3 番 門 脇 輝 明
4 番 加 藤 紀 之	5 番 大 原 広 巳
6 番 大 杖 正 彦	7 番 米 本 隆 記
8 番 大 森 正 治	9 番 野 口 昌 作
10 番 近 藤 大 介	11 番 西 尾 寿 博
12 番 吉 原 美 智 恵	13 番 岡 田 聡
14 番 野 口 俊 明	15 番 西 山 富 三 郎
16 番 杉 谷 洋 一	

欠席議員（1 名）

2 番 池 田 幸 恵

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 …………… 持 田 隆 昌 書記 …………… 三 谷 輝 義

説明のため出席した者の職氏名

町長	竹口大紀	教育長	鷺見寛幸
副町長	小谷章	教育次長	前田繁之
総務課長	山岡浩義	幼児・学校教育課長	田中真弓
財務課長	金田茂之	企画課長	源光靖
観光課長	徳永貴	農林水産課長	井上龍
福祉介護課長	池山大司	健康対策課長	末次四郎
税務課長	二宮寿博	建設課長	大前満

午前10時開会

○局長（持田 隆昌君） 互礼を行います。ご起立ください。一同礼。ご着席ください。

開会・開議・議事日程

○議長（杉谷 洋一君） ただいまの出席議員は、15 人です。1 名欠席ですので、15 名です。

定足数に達していますので、令和 3 年第 1 回大山町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第 1 会議録署名議員の指名について

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定によって、4 番 加藤紀之議員、5 番 大原広巳議員を指名します。

日程第 2 会期の決定について

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 2、会期の決定についてを議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日限りにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日 1 日限りに決定しました。

日程第 3 議案第 1 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 3、議案第 1 号 令和 2 年度大山町一般会計補正予算（第 14 号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） おはようございます。

今年初めての議会となります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

それでは、提案理由の説明をさせていただきます。

議案第1号 令和2年度大山町一般会計補正予算（第14号）については、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する経済対策やワクチン接種事業、年末からの大雪による除雪経費や雪害対策経費などを計上するため、既定の歳入歳出予算の総額に1億5,716万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を142億7,058万8,000円とするものであります。

補正予算の主な内容といたしましては、新型コロナウイルス感染症に対応する経済対策として、中小企業診断士による経営支援を補助する「大山町経営改善サポート補助金」の創設、Go To トラベルの全国一斉停止等によりキャンセルが相次いだ宿泊事業者を支援する「大山町内に泊まろう！宿泊応援事業」の実施、販路拡大支援補助金や飲食店等緊急支援補助金の増額、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制確保及び接種事業の実施、雪害等により園芸施設が全半壊した農家に対し、その復旧にかかる経費の一部補助の実施、道路除雪費の増額などを計上しております。

以上で説明を終わります。

○議長（杉谷 洋一君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（13番 岡田 聡君） 議長 13番。

○議長（杉谷 洋一君） 13番 岡田議員。

○議員（13番 岡田 聡君） 何点か質問させていただきます。

まず最初に、これは議案の直接質問じゃないんですけども、今回、議案説明資料ということで非常に詳しい資料をつけていただきました。本当に分かりやすくありがたいことですが、ちょっとこの中で補正予算書等のページ、款ごとの順番になってないんですね、この綴じ方が。最初、総務費が来たり、まあ、総務費が最初来るのは当たり前ですが、その次に、いきなり商工費とか、この意図がよく分からないんですけども、補正予算書とできれば、款の順番に綴じていただければより分かりやすくなるんじゃないかなということですのでございます。まあ、それはそれとして。

質問ですが、補正予算書の6ページと7ページにありますけども、同和対策費で備品購入費、リモート会議用スピーカー内蔵カメラ、これ人権交流センターと、中高ふれあい文化センター、それから中山ふれあいセンター、これをつないでリモート会議を行うための予算12万6,000円挙がっておりますが、ほかの部門では、こういうリモート会議をする必要はないのかどうか。

例えば、各本庁と支所間とか、あるいは保育所が何か所かございます、これらの間とか、学校関係とか、それらの関連施設のリモート用、こういう必要なリモート会議の部

品購入は必要ないのかどうか、それらを質問いたします。

それから、7ページにございますが、15款の民生費、児童福祉施設費で部品購入費、空気清浄機3台でございます。これ児童館向け、3つございますが、これの児童館向けに、3台。それから同じく7ページに、保育所費ということで、ここにも部品購入費で新型コロナウイルス感染症対策部品となっています。これ、5つの保育所に合計17台、補正予算が140万3,000円。これ1台当たり計算しますと、児童館の分は1台当たり税込み15万4,000円。保育所の分は、税込み8万2,530円ですね。これ、倍近い価格差があるんですけども、性能がどれぐらい違うのか、どうしてこれだけ差をつけた空気清浄機を入れなきゃいけないのか。8万円も出せば結構高級な高性能な空気清浄機が購入できると思いますけど、この点について質問いたします。

それから、10ページの35款商工費、観光費ですが、今回、新たに町内宿泊施設の利用向上を図るということで、町民施設を利用したツアー造成事業ということで、2,000万円ほど挙がっておりますが、前回行った同じようなツアー造成事業で、2,000万円の予算に対して、不用額が400万ほど出ております。今回は同じような金額ですが、これできれば、宿泊施設を助けるための予算、めいっぱい使っていただく必要があろうかと思えます、効果を上げるために。そこら辺り、前回と同じようなやり方でやるのかどうか。もっとPRが必要ではなかろうかと思えますが、どうでしょうか。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） それぞれ担当課が答えますが、全体的なところがありましたので、テレビ会議システムに関してですけれども、その他の部署に関しては、ウェブカメラ等の設備が整備をされておりますので、今月の管理職会でありますとか、各種会議できるところから、リモートで開催をして、感染防止の観点から、なるべく接触回数を減らすというような取組で、ウェブ会議等どんどん取り入れていっているところでございます。今回は、そういった備品が完備されていないところに整備をしていくというようなものでございます。

詳細はそれぞれ担当がお答えしますし、これ以降も、担当から直接お答えをさせていただきます。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） 先ほどのウェブ会議の件に関するスピーカー内臓カメラの件でございますが、こちらの主目的はですね、町内の各管内の連絡ということもあるんですが、主には西部管内の各市町村の隣保険の連絡というのがこちらメインの目的になります。

今年、3年目になるんですが、大山町にちょうど事務局が回ってきておりまして、メ

インでこういった会議とか研修とかを行うということがございまして、こちらを整備させていただくということで計上させていただいているところです。

それから空気清浄機につきましては、今回下田中児童館に1台、それから中高児童館のほうに2台設置させていただくことで計上させていただいております。人権交流センターのあすなろ児童館につきましては、12月補正で予算要求させていただいて現在準備中でございますので、そういった形で同形のものを準備するというのでさせていただいております。保育所側とのちょっと性能の違いにつきましては分かりませんが、この性能で新型コロナに対しても対応できるということで確認はしているところです。

以上です。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 議長、幼児学校教育課長。

○議長（杉谷 洋一君） 田中幼児学校教育課長。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 失礼します。保育所に設置します空気清浄機につきましては、3歳以上児の保育室につきましては、現在加湿器だけの設置になっておりますので、追加的に設置するものです。保育室ということで、空間も狭いので、今、要求しているもので、十分ではないかということで考えております。以上。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） お答えさせていただきます。

宿泊応援事業について、前回と同じやり方、めいっばい予算を使ってやってくれということでございました。

前はモニターツアーということで1泊していただいて体験を行っていただくというようなことになっておりますけれども、このたびは、このG o T o トラベルの全国一斉停止、そして県内拡大等々、それから、いろんなスキー合宿等々の宿泊が多数相次いでキャンセルとなっております。これらの事業につきましては、1泊2食の宿泊というところで、重点を置かせていただいておりますし、また、多くの町民の皆さんに使っていただきますよう広報はしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議員（13番 岡田 聡君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 岡田議員。

○議員（13番 岡田 聡君） ちょっと空気清浄機のことについて、これだけ価格があるというのは、広さの問題もあるんですかね。児童館の分は15万4,000円、保育所に入る分は8万いくら。設置する広さなんか関係するんですかね。ちょっと説明をお願い。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） 保育所側ともちょっと調整は行ってはおりませんが、

児童館側としましては主に遊戯室、岡田議員さんおっしゃるようになりにかなり広い場所になりますので、その除去能力があるかということで電気屋さん等と調整した結果、計上させていただいているところです。多分お見込みのとおりだと思います。

○議長（杉谷 洋一君） よろしいですか。はい、ほかに質疑ありませんか。

○議員（9番 野口 昌作君） 議長、9番。

○議長（杉谷 洋一君） 9番 野口議員。

○議員（9番 野口 昌作君） 5 ページの税務総務費の中で、町税等の更正還付金が出ておりますけれども、これはどのようなことで、更正還付金になったかということをお尋ねします。

それからですね、新型コロナの関係でワクチン接種があるわけですが、さっきも聞きましたけれども、大山町の場合は、名和の診療所のほうでやるということでございましたが、これから先ずっとですね、大山町の場合、接種していくに当たっては、とにかく名和のところの診療所でやるんだということになっていくのか。

それはそれとしまして、そこに行くまで、老人の方なんか、年寄りが先に接種するわけですが、それらについても自分で行かなければならない。何とか皆さんと一緒にいくような手だてというようなことがあるのかということとですね、それから新しい電話を設けて、電話での予約を受け付けるというような話もちょっと聞きましたけれども、何て言いますか、いわゆる該当表というものを各個人に配られると思います。「あなたが接種該当者、65歳以上だから」というような全町民ですけれども、取りあえず65歳以上ということであるかと思っておりますけれども、それに基づいて電話をしてきてですね、電話の受け付け順番で接種をしていくというようなことになるのか、ということをお尋ねいたします。

○税務課長（二宮 寿博君） 議長、税務課長。

○議長（杉谷 洋一君） 二宮税務課長。

○税務課長（二宮 寿博君） 還付金の関係でございますが、確定申告によりまして、町県民税の再計算をすることになります。それによりまして町県民税の額が下がったということで、還付するものでございます。

現在、予算をいただいております額では足りなくなってきましたので、今回補正を計上させていただきました。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） お答えいたします。

まず集団接種の会場ですけれども、名和診療所ではありませんで、保健福祉センターなわで行います。ですから、多目的ホールとかいろんなロビーのスペースとか、そういったところを使って行います。

それで、現在のところは、集団接種につきましては、保健福祉センターで、1 か所でやる予定にしております。

それと、高齢者の方ですけれども、基本的には、御自分で出かけていただくということになります。それで、もし、交通手段とかない場合でしたら、デマンドバスとかを御利用いただけたらというふうに考えております。

それと最後に、電話予約の件でございますけれども、また、接種日なり接種時間なりを、計画をこちらのほうで立てさせていただいて、あとは受付順、そこは予約していただいたら受付順で受付をその日の時間帯で受付をさせていただいて、お出かけいただいて接種を受けていただくということになろうかと考えております。

以上です。よろしいですか。

○議長（杉谷 洋一君） よろしいですか。野口議員。

○議員（11 番 西尾 寿博君） 議長、11 番。

○議長（杉谷 洋一君） 11 番 西尾議員。

○議員（11 番 西尾 寿博君） まあ皆さんが関心があるワクチンの話なんですけれども、マックスで1日280人。高齢者は予定で3,700人、60%と見とるといふ。私はそうですね、もう少し皆さんが打つんじゃないかなあというふうに思っております、多分4000、四、五百と考えたらですね。マックス打っていても15日間は、1回目で足りませんね。毎日というわけなんですから。休みもあるでしょうから、20日間、トラブルがあったとして20日見て、1回だけで20日間掛かるんですが、待ってる方は早くしてもらいたい。決まったらもう、早くしたいよね。

で、国の指導ってのはあるでしょうけど、3か月間の中で打てと。町長が説明、おっしゃられてましたが、これ各自治体、多分スピード感が違うんじゃないかなと思っております。

いずれですね、どっかやり始めると、大山はいつだと、遅いじゃないかというようなことがね、多々出てくるんじゃないかなと思います。それにプラス、やり出すとアレルギーの方がおったりとかね、いろいろ問題は発生して、遅れていくとね、いろいろ早いところがあったり、デコボコがあった場合にね、いろいろ批判がある。それも想定しなければならぬと思うわけなんですけども。

マックスはいいんです。最短でどの辺ができるんか、最短をできればね、やっていただきたいわけなんですけども、その点についてはどうでしょうか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 先ほど議員さんのほうの御質問の中でありました今の想定してあります接種率を考えますと、一日280人で、大体1週間で3日間行えば、それをずっと継続して行えば、その人数の接種にはなるという計算になります。

それで、仮に、接種率、もっと多い方が受けられるということをしたら、1日280人の接種者数を1週間で4日間なりを受けていただくような体制を整えたら、そこは十分可能かなというふうに思っておりますが、その接種体制につきましては、今後医療機関の方々と調整をしていかなければなりませんので、基本的にはそういった接種体制をつくっていただけるように協力依頼をしていって、今後進めていきたいというふうに考えております。以上です。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） お答えします。

なるべく国が示す基準に従って打っていくんですが、1日でも早く、1人でも多く、早く打てるように取り組んでいきたいと考えております。

只今、国からの情報も入ってこない部分も多いんですが、例えばそのワクチンの供給も、期間開始の最初のほうに全部数量が入ってくるのかどうか、そういうところもわかりません。接種のスピードというのもありますけれども、ワクチンの供給スピードというところもありますので、そこを見極めながら、接種を迅速に進めていきたいと思っております。

で、相当人数より上ぶれした場合に、先ほど西尾議員が、頑張っても20日ぐらいかかるんじゃないかということがありましたけれども、今最初に入ってくる予定のファイザー社のワクチンは、1回目と2回目の最低の接種の間隔が21日間、空けなければいけないということになっておりますので、西尾議員の御指摘のとおり上ぶれした場合でも、そこまで滞ることなく、2回目の接種等も動いていけるんじゃないかなというふうに考えております。

○議員（11番 西尾 寿博君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 西尾議員。

○議員（11番 西尾 寿博君） まあね、上ズレが悪いのかいいのかよく分かりませんが、例えば、逆に下回った場合に、それでオッケーなの？っていう話なんですけども。なるべく打ってくれと勧めるのか、もうあとは何もしないよという意味なのか、これ、どういう考えを持っとるんでしょうかね。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） お答えします。

接種は、基本任意ですけれども、なるべく接種していただけるように、広報、啓発等をしていきたいというふうに思っております。

○議長（杉谷 洋一君） はい、ほかに。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 議長、12番。

○議長（杉谷 洋一君） 12番 吉原議員。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 先ほど来、ワクチンについてですけれども、私も、説明資料のほう分かりやすいのでその15ページに書いてありますが、説明資料の一つは、1問目です。

ワクチン接種事業の接種順位が書いてあります。で、その中に高齢者が1くくりになっているわけでありまして。医療従事者の次に、65歳以上。さっき説明ありましたように、高齢者6,292人、60%として3,000何人計算されておりますけど、その中にですね高齢者にも、基礎疾患を持っておられる人はおられますよね。その方を、高齢者の上に、もう一つ、早く順位を上を上げていただくということでない、結局は、基礎疾患を有する者やその次の普通の方はあるわけですが、ですので高齢者、一辺に3,000人が来られるとするとやはり基礎疾患を持っておられる方を、もう一つ先の優先順位にされないと、ということが必要ではないかと思うわけですが。そのことについて。

そしてまた、デマンドバスが借り上げされておりますけれども、公共交通本来、高齢者の方で、免許もない方もおられますし、希望者の方には皆さん受けていただければいけないわけですから、予約デマンドバスというよりは、福祉タクシーとか、やはりタクシーのほうが使い勝手もいいし、今回特別ですのでそういう公共交通考えていただけたほうがいいかなと思います。

逆に、デマンドだと終わる時間なんか予想も出来ませんし、なかなか使いにくいんじゃないかなと思います。その2点を、ワクチンについてはお尋ねいたします。

それから、あと観光課ですけれども、3月4月にGoToキャンペーンが落ち込むので、それは理解いたします。2,000万計上されておりますけれども、その3月4月の時に、やはり泊まる方、町民さん限定されておりますけど、本当はもう少し西部地区とかに広げられて、もう少し大山の良さを知ってもらおうとか、そういう方向も要るんじゃないかなと思います。そして、3月4月はいつもながら落ち込むわけですから、ただ、援助するんじゃないかと一緒に、この端境期をどう乗り越えるのか。山菜料理をするのか、また違うアクティヴを考えるのか、そういうことも一緒に考えながら、やっていかなければいけないと思いますが、その2点を質問いたします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 65歳以上の基礎疾患のある方でございますけれども、その方につきましては、65歳以上の高齢者の方に含まれますので、まず最初の優先順位として、接種を受けていただくということとなります。

それと、デマンドバスよりも、福祉タクシーとかそういったこともっていうお話でした。まさにそういったこともございまして、今、福祉の部門でタクシーなり、あと外出支援サービスなりというのを、やっぱり今、モデルケースと言いますか、事業をやって

おられます。そういったことを参考に、ちょっと新たにそういったデマンドバスが御利用出来ない、しづらい方につきましてもフォローの施策を考えていきたいと今考えているところでございます。以上です。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） お答えさせていただきます。

3月4月のシーズンというところでもございまして、どちらかといいますと、大山がちょうど冬から春にちょうど季節が移り変わるところでございます。

そういったところで、また大山の魅力を再発見してもらいたいなというところもありますし、またいろんな体験もどうかというところでもございますが、これからこの事業に議決いただきましたら、どういった宿泊施設が取り組んでいただけるかということも、アンケートをとって、手挙げをしていただきまして、それから、その旅館なり、宿泊施設がどういったことをしていただくかというところを周知しながら、募集をかけたいという具合に思います。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 吉原議員。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 接種事業ですけれども、今言われた高齢者が全部含まれていると言われますけど、高齢者の中でも65歳以上の中でも、その基礎疾患を持った方と、普通の何も持たれない方と2通りあるわけです。その方たちが一斉に来られたときに、優先順位を決めてなかったら、基礎疾患を持ってきた人たちが、たくさんの中に紛れてしまうということになりますと順番待ちが違ってくるんじゃないかという話をしているわけでもございますが、いかがでしょうか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 今の国のほうで示されてます優先順位でいきますと、高齢者の中に含まれてるということでもございますので、まずは、その方針に従って、準備を進めていきたいというふうに思っておりますが、今後、場合によっては仕組みとして変更になるということもあるかも分かりません。

そういった場合には、それに対応した形でやっていきたいというふうに考えております。以上です。

○議長（杉谷 洋一君） 吉原議員、よろしいですか。あの、何か月も違うわけではないので、その辺りはですね、本人は早く申し出たりしてやればいいじゃないでしょうか。

そういうことが大変な問題じゃないです。と、思います。ほかに。

○議員（6番 大杖 正彦君） 議長、6番。

○議長（杉谷 洋一君） 6番 大杖議員。

○議員（6番 大杖 正彦君） それでは、ワクチン接種事業とそれから観光課の大山に泊まろう宿泊応援事業についてお尋ねします。

ワクチンの接種事業については、行政の方、そして医療関係者の方のこれからの大変な準備とそれから作業が待っているとあります。安全な接種に関して、徹底した準備をお願いするところではありますが、予算の中で、警備委託料というのがございます。これはどういう内容か、恐らく駐車場の案内整備だと思うんですが、ほかに何か目的ありましたら、どういう目的で計上されてるのか。

そしてもう一つは、場所がなわ保健福祉センターですか、ということだと思いますが、そこには健康対策課、そしてこども課もありますよね。そして職員も大勢いらっしゃる中で、先ほどのその中でも、最大200人から280人という方が接種に来られるとしたら、密をちょっと心配するんです。

ニュースで言われてますように、1回目接種終わった後、15分か何分か後に、経過観察もしなくちゃいけない、それからも滞在される。そういうことも含めて、密が心配されるんじゃないかということがあるんですが、場所的に問題はないかどうかをお尋ねします。

それと20ページになりますが、資料の、G o T oキャンペーン中止に伴う大山町宿泊事業者が、かなり困窮しているということですが、実際に、私も、年末、G o T oキャンペーン中止を決めたニュースを聞きまして、たまたまが寄合があったもんですから、その次の翌日から、キャンセルの電話が鳴り続いたというふうに聞いております。実際、現在まで、その後の1都3県、それから7府県の緊急事態宣言も出された影響もあると思いますが、どれぐらいのキャンセル人数があったのか。そのデータをとっているのかどうか、お聞きしたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） まず、警備委託料でございますけれども、議員おっしゃられますように、会場駐車場の警備の委託料でございます。

それと、センター名和の密にならないかという御心配ですが、密にならないように動線も一方通行にしまして、施設のエリアもホールなり機能訓練エリアなり、広く使って密にならないようにシミュレーションをして準備を進めているところでございますので、そういった心配はないというふうに考えております。以上です。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） お答えさせていただきます。

キャンセル数のデータはいかがというところでございますけれども、発表になりまして、私どもも大山旅館組合等と連絡をとりまして、キャンセル調べをさせていただきました。

先ほど申し上げさせていただきましたですけれども、1月20日現在でございますけれども、8700名以上の、12月28日から3月31日までのキャンセル数、1月20日現在で調べたところですが、8700万名以上のキャンセルがあったというところで把握しておりますし、まだ別途ペンション等にも電話連絡いたしまして、やっぱりG o T o トラベル等、それから、緊急事態宣言でキャンセルが出ているというところで聞き取りをしております。以上です。

○議員（6番 大杖 正彦君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 大杖議員。

○議員（6番 大杖 正彦君） 恐らくですね、皆さん、このキャンセル人数の数字をお聞きになったとなると、想像以上に大きい数字だなというふうにとらえると思います。

こういう観光施設とですね、事業者の1番の稼ぎ時といいますか、お客さんが集まる時は、年末年始ですね、やはり。今回の1番の問題はG o T o トラベルの中止がもう年末迫ってから発表された。それに伴うキャンセルが集中した。観光事業者は、当然、当面の予約人数のキャンセルだけじゃなく、予約があったものに対して、食材やいろいろなものの準備、物の購入、それからバイトなり、応援していただく雇用者の確保とか、いろいろなものを手配して、それに対する費用がかさんでるわけです。そういう被害額も、やはり観光課としては、関係団体と協議して出して、これはほかの、例えば農業関係でも、水害災害、いろいろなことであつたり被害額が幾ら出た、これだけの補償なり補填が必要だということに至ると思いますので、そういう数字も出すべきだと思いますが、それについてはどういう捉え方をされてますか。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） はい、お答えさせていただきます。

被害額についてというところでございますが、被害額についてはこちらのほうはちょっと把握はしておりませんで、関係機関からまた情報提供いただきながら、それは対応してまいりたいという具合に思います。

○議員（6番 大杖 正彦君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 大杖議員。

○議員（6番 大杖 正彦君） ぜひそれは調べていただきたいと思ひまして、先ほどこれの対応策で大山町内に泊まろう宿泊応援事業の中でですね、こういうキャンセルがあったので、困窮した事業者を助けようということで泊ってくださいというだけですが、吉原議員のほうからいいアイデアが、意見が出ました。

やはり、その時期に合った、やっぱり大山特有なものは何かって、3月から4月にかけては、山菜が非常においしい時です。そういったものをですね、グルメメニューとして、うちに是非、来て楽しんでいただきたいと言われるようなものをアピールしてい

かないと泊まろうとされるお客さんにとっても、目的をもって楽しみを持ってもらう意味でも、必要だと思うんですが、その辺は観光のこれからの進め方としてどう考えてられますか。お願いします。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） はい、お答えさせていただきます。

御提案をいただきました。ちょうど山菜がいい時期だということですのでございます。

恐らく手げされる宿泊施設におかれましても、そういったメニュー、それから、こういったPRというか、お客さんを呼び込むようないろんなアイデアを出されると思います。それを期待して、町民の皆さんに来ていただきたいというふうに考えております。

○議長（杉谷 洋一君） ほかに。

○議員（8 番 大森 正治君） 議長、8 番。

○議長（杉谷 洋一君） 8 番 大森議員。

○議員（8 番 大森 正治君） 何点かお尋ねしますが、まず、ワクチンの接種についてのことですけども、先ほど接種を優先順位ということがありましたですけども、吉原議員が仰ったように、基礎疾患を有する者、高齢者のということがありましたけども、高齢者以外で、65 歳未満でも、基礎疾患を有する人いらっしゃると思うんですよね。この方に対してが優先、まずすべきじゃないかなと思うんですよ。というのが、皆様御存じのとおりで、重症化しやすいと、そして死亡に至りやすいというのがあるように聞いておりますので、まずこれが優先順位かなっていう気もしました。

特にそれだけ高齢者の中で、基礎疾患を有する者っていうのは、早くしてあげたほうがいいんじゃないかなというふうに思うんですが、その辺りをどのようにお考えなのか。

それから2点目は、ごめんなさい。議案の説明資料のほうでちょっとお尋ねします。6 ページ。経営持続化支援事業の中に、これまで行われた事業として、大山町版の持続化給付金と考えていいですが、大山町事業継続支援交付金、これを減額、不用額として減額が1,250万ありますよね。ちょっとこれに絞ってお聞きしたいと思うんですけども。かなりな不用額が出てますが、まず、この利用件数と法人、個人、それぞれどぐらい利用されたのか。その際ですね、分母も何分の何ぼ利用されたのか、ということも教えていただきたいですね。法人、個人それぞれ。一覧表にもありますが、ちょっとそれではまだ大ざっぱで分かりにくいのでお尋ねします。

それと、何故こんなに不用額が多かったのか、多く出たのか。かなり打撃を受けられて、活用されたんじゃないかなっていうふうに思ってたしたら、それほどでもなかったのかなと。額からいけば、件数が35件っていうのがありますし、それから宿泊事業継続交付金は28件とあるんですが、分母がわからんので、どれぐらいの割合で活用されたか分かりませんのでその辺を教えていただきたい。で、今言ったように、なぜ多く

なかったのかってという理由も分析しておられたらお願いします。

それとこの減額した不用額はどうかされるのか。これだけのものをね、国に返還しなきゃならないのか。どうなのかってことですね。

それから次の質問ですが、同じく説明資料の 19 ページにあります町内施設を利用したツアー造成事業で、これも非常に任期中良かったわけですし、また宿泊あるいは体験の施設の方は、潤って非常に良かったなというふうに私自身も聞いておりますけども、これですね、町内の全施設が利用されたのか、全施設、団体も含めてですね。全施設が利用されたのかどうか。

それから参加者が、利用者がゼロだった施設はなかったのか。偏ってもおったかもしれんなというふうな気がしておりますので、そのことです。ちょっとこの際お聞きしておきたいと思いますが、こういう事業につきましても、400 万ほど不用額が出ております。減額が。これはどうなのか、国へ返還されるものなのかどうかお聞きします。

それから、もう 1 点目は、24 ページにあります空気清浄機の購入で、各保育園に配置されるわけですが、園によってばらつきがありますが、当然児童の人数によってでしょうけども、あるいは部屋の数とか、これとどんな場所に設置されるのか。例えば大山保育所なんかは 2 台ですけども、部屋は結構ありますのに、2 台というのはちょっと解せないですので、どんな場所に設置されるのかお聞きします。

長くなりました、以上です。

○議長（杉谷 洋一君） あのね、大森議員。質問の中でね、高齢者が最初の順位でそれ以外若い人。いろいろ疾患を持った人が組み込むというのはもう国順番も決まっておるわけだから、大山町だけ突出としてこっちを上げたり下げたというのは、大変ではないかなというふうに感じました。と、ということで答弁をお願いします。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 優先順位につきましては、先ほど議長さんのほうからも、御発言ありましたですけども、重症化リスクを考えまして、国のほうで専門家の方々の意見も聞かれた上で、まず最初に高齢者の方、その中には基礎疾患の方も含まれます。基礎疾患といいますか、65 歳以上の基礎疾患の方、それに引き続きまして、65 歳以下で基礎疾患のある方というふうな優先順位をつけておられますので町としまして、その方針に従って準備を進めていきたいというふうに考えております。以上です。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 町長。

○町長（竹口 大紀君） 大森議員への質疑というか、吉原議員の質疑の答えがあまりなかったんで合わせてになるかもしれませんが、今国のほうで接種順位、グループごとに、65 歳以上高齢者とか、基礎疾患を有する人とかいうふうにやっていますが、そ

れ、今現段階での目安で、今実際そのワクチンの供給量、供給時期というのはまだ全然分かってないところです。

このワクチンの供給量が万が一、想定よりも少ない場合にはですね、そのグループ、例えば 65 歳以上高齢者という括りの中でも、さらにグループを細分化するというような方針を国が示してます。で、どうやって細分化をするかというところは具体的にまだ示されてませんが、年齢等によってさらに細分化することがあるということで、これは今後のワクチンの供給体制によってその辺が前後したり、細分化されたりということが出てきますので、また国の情報が出次第、町のほうでも方針や取組内容を決めて、町民の皆さんにも、議員の皆さんにもお知らせをしていきたいというふうに思っております。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（杉谷 洋一君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） 御質問いただきました大山町事業継続支援交付金の減額のほうについてお答えをいたします。

こちらですが、当初にですね、制度設計いたしましたときに、だいたい町内の事業所が 500 余りございます。その中で国の交付金の対象にならない部分、いわゆるその前年の収入に対して、50%以上減の月があるところについては国の交付金の対象になりますので、そこにかからない部分について、町のほうで 1 事業者当たり最大 10 万円ということで制度設計いたしました。その基礎の数値といたしまして、当時、商工会さんのほうで、町内の事業者さんにアンケートをとられた結果で、およそ町のこの事業にかかってくるところが 30%から 40%ぐらいだろうという見込みで、175 件という数字で制度設計をいたしました。

そういう制度設計でございましたので、見込みが甘かったというようになるところになるかと思いますが、結果的には、分析としては、その後に、影響が大きな月がまだ発生したということもあって、国のほうの交付金 200 万を受けられた方が多かったのかなということで分析をいたしております。

また法人、個人の別ということですが、すいませんちょっと今資料を持ち合わせませんので、また後日、また後ほど資料提供等はできればと考えます。以上です。

○財務課長（金田 茂之君） 議長、財務課長。

○議長（杉谷 洋一君） 金田財務課長。

○財務課長（金田 茂之君） 国費の返還の話がございましたので、お答えをいたします。今現在第 2 次までに、4 億 7,783 万 4,000 円の交付決定をいただいております。

それに対しまして歳出の予算につきましては 6 億以上の事業費を予算化させていただいておりますので、減った分につきましてはほかの事業に充当替え等に対応することと

しておりますので、最終的にこの事業が終わりまして、国費のほうが多ければ返還ということになるかと思えますけれども、今現在では歳出予算のほうを上回っておりますので返還終わってないものと考えております。以上です。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） お答えさせていただきます。

まずモニターツアーの造成事業の分の減額についてでございますけれども、全施設が手上げかどうかというところでございますが、これはこの事業に対して取り組んでやろうという業者の手上げ方式でございますので、参加されなかった事業者の方もあるという具合に認識しております。

それから、利用者ゼロの施設はなかったかというところでございますが、利用人数の大小はありますけれども、ゼロのところはございませんでした。

それから、不用額については先ほど財務課長がお答えしたとおりでございますので、答弁は控えさせていただきます。以上です。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 議長、幼児学校教育課長。

○議長（杉谷 洋一君） 田中幼児学校教育課長。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 保育所の空気清浄機を設置する場所についての御質問でございますが、3歳未満児の保育室につきましては既に設置をしておりますので、今回につきましては、3歳以上児の未設置の保育室に設置をする予定にしております。

以上です。

○議員（8番 大森 正治君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 大森議員。

○議員（8番 大森 正治君） 大山町事業継続支援交付金のことについて再度お聞きしますけれども、分かりましたですが、かなり今、経営状況がえらいと、大変になってると、この第3波によって、というのは先ほどからの議論の中にもあったわけですが、ですから大山町として、今もう、業者の経営状況というのを把握されていると思いますので、されてなかったら、しっかり把握された上ですね、厳しいということは私も聞いておりますし、直接、宿泊業者の方、飲食業者の方に聞いても、本当にこの年末年始、1月減っているということがあります。キャンセルも相次いでいるということも、先ほどから話があるわけですが、この第2弾としてのね、事業をされないのか。やっぱりすべきじゃないかなという気はするんですけども、その辺を、町長はいかがお考えでしょうか。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 町長。

○町長（竹口 大紀君） お答えします。

まだ、コロナ支援策の関係が、今回の提案で終わりということではなくて、また、順次、状況を見ながら対応させていただきたいというふうに考えております。この事業者の経営の支援に関しては、様々な国県町の施策がありますので、それらを組合せて、事業者の方が工夫されながら、今も事業継続されておられると思いますが、年末年始のかき入れ時の状況で、G o t oの一斉停止だったりとか、最近の緊急事態宣言の発令であったりとか、そういう状況の変化もありますので、それを受けて経営状況がどうなっているのか、もう少し分析をしながら、次の打つ手は考えていきたいというふうに思っています。

○議長（杉谷 洋一君） はい、よろしいですか、ほかに。

○議員（10 番 近藤 大介君） 議長、10 番。

○議長（杉谷 洋一君） 10 番 近藤議員。

○議員（10 番 近藤 大介君） 何点かお尋ねしたいと思います。

まず、新型コロナウイルスワクチン接種事業についてですけれども、早ければ、3 月末からということのようですけれども、集団接種を行うですね、医師の確保について、どのような見通しであるのか、どういった医師がこれを行うのか、町内、町の職員として、今、ドクター医師が 4 人おられますよね。こういった方も、集団接種を行うのか。医師と看護師さん等も含めてですかね、1,100 万円の報酬が組んであるんですけれども、町の職員でもある医師にもこういった報酬が別途支払われるのかどうかということの確認。

それから、ひょっとしたら聞き漏らしで説明があったかもしれませんが、デマンドバスの借上料が 75 万円、これを運用方法について、少し説明してください。

それから、今度商工費の関係で、経営持続化支援事業、予算書 10 ページですけれども、大山町経営改善サポート補助金 200 万、新規になるんですかね。今からの予算化ですが、見込みの件数ですね。それからもう今年度残り日がないですが、年度内にちゃんと執行できるのか、見通しについて御説明をお願いします。

今度は、予算書 6 ページなんですけれども、人権交流センターの関係ですが、ウェブ会議用のカメラの購入だったり、ソフトウェアのライセンス使用料の予算が組んであります。必要なものだとは思いますが、役場業務全体としてですね、今現在、例えば、鳥取県の市町村の担当課長会だとか担当者会だとか、こういった会議等でのですね、オンラインによるオンライン会議の開催状況をどの程度把握しておられるのか、ちょっと説明していただきたいのと、それから、ライセンス使用料の予算化についてですが、今現在、こういった例えばズームとかのライセンス契約数が今現在何本あるのか、これについても御説明をお願いいたします。

それから同じく民生費の児童福祉費の今度関係なんですけれども、下田中の児童館で、園庭遊動円木ですか、遊具が撤去されるようです。それからあすなろ児童課のほうでは、

ジャングルジムが撤去される、それぞれが古くなって危険だから撤去するということだ
と思うんですけれども、今後も、新たな遊具の設置についての考え方について御説明を
お願いいたします。以上です。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） はい、お答えいたします。

まず、集団接種の医師の確保ですけれども、町内の民間の先生方、そして直診の診療所
の先生方をお願いをしていくということにしております。

それと報償費の支払いの件ですが、これにつきましては民間の先生にお支払いをする、
民間の先生なり看護師さんにお支払いをするというふうにしております。

最後にデマンドバスの運用方法ですけれども、基本今の手続、登録していただいて予
約をしていただく。そして方法としてチケットをお渡しするような形でのことを今検討
しておりますけれども、今ちょっと詳細につきましては、業者さんのほうと詰めている
ところがございますので、はっきり決まり次第、改めてお知らせをしたいというふうに
考えております。以上です。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（杉谷 洋一君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） 大山町経営改善サポート補助金の御質問にお答えいたします。

こちらは先ほど触れていただきましたように新規の事業を御提案差し上げるものでご
ざいます。

こちらですが町内の事業者が、専門家による経営支援を受けるための経費補助の仕組
みでございますが、経営支援につきましては、現在コロナの様々な融資を受けておられ
る事業者に対して、その融資について今後返済が始まりますので、その返済に伴って、
企業経営診断でありますとか、また改善のための事業計画策定等を、中小企業診断士等
に頼まれる場合、力添えで作られる場合について、その事業費について補助を考えてい
るものです。

上限については 25 万円程度で考えておりますが、おおよそ、それで 8 事業者という
ことで、今、見込んでおりますが、これにつきましては今回、御議決いただきまして準
備は進めますが、実際の施行につきましては、令和 3 年度に繰越して継続して事業実施
ということで考えております。以上です。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） 人権交流センターの運営事業に関連しましてウェブ会
議用のカメラ等につきまして御質問いただきましたのでお答えしたいと思います。

こちらにつきましては、今回ズームの、今現在多くサポートを受けない、フリーのズ

ームというのを対応してるんですが、今回は事務局機能を持つということで正式にライセンス、1 番廉価の分ですが、そちらのほうでライセンス使用料を払って、通信等に何かあったときにサポートを受けれるようにすると。そういう形で今回はライセンス使用料というのを上げさせていただいてるところです。

ほか、全庁全体のほうについてはちょっと分かりませんが、現在ほとんどの研修等につきましては、リモートが主流になっております。緊急事態宣言が生じる、発令される前は、若干対面での研修というのも少し県のほうで企画されたりとかしてましたが、現在も全てリモートというふうにお考えいただければ、概ね間違いではなかろうかと思えます。

それから、児童館関係の遊具の関係でございますが、こちらにつきましては特に下田中児童館につきましては、現在、複合施設への統合ということを検討している段階で、基本的には撤去という考えで、撤去してその後は整備しないという考えであります。で、現状を見ますと中高児童館につきましても、敷地面積等が非常に少ないということがありまして遊具が設置出来ないという状況ですし、中山のほうにつきましても、複合施設になった場合、場所がとれないということもあります。あすなろ児童館につきましても特に遊具に関するニーズがもの凄く高いというわけでもありませんので、現状では、新たな遊具は設置しないという形で今のところは考えておりますが、また状況は変化しましたら、その時々で対応のほうはさせていただきたいと思えます。以上です。

○副町長（小谷 章君） 議長、副町長。

○議長（杉谷 洋一君） 小谷副町長。

○副町長（小谷 章君） 先ほどのオンライン会議の件なんですけれども、先ほど福祉介護課長のほうからも答弁あったとおりで、研修のほうは結構オンラインのほうで、やられているものがふえてきたというふうに実感はしております。

ただ一方でですね、会議のほうにつきましては、県下全域で、県が主催してやられるようなもの、例えば先日も経済関係の会議、団体を集めての会議といったものがありまして、そちらのほうは、各経済団体であるとかをつないだウェブ会議でされておりましたし、もちろん、コロナ関係の対策会議、そういったものもオンラインでやられたりということで、随分進んできております。

ただ一方で、地区のですね、担当課長会議であるとか、副市町村長会議、そういったものもですけれども、まだまだオンラインでやれるような形になっていない。実際に人間が集まってやる会議、そういったものもまだ残っているというところで、ウェブ会議のほうにどんどん振り替わっていくことを期待したいなと思ってるところでございます。

[発言する者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質問ですか、2 問目ですか。

[「答弁漏れ」と発言する者あり]

- 議長（杉谷 洋一君） はい、じゃ、答弁漏れがあるそうです。
- 総務課長（山岡 浩義君） 議長、総務課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 山岡総務課長。
- 総務課長（山岡 浩義君） ライセンスの契約書、今手元に数字を持っておりませんので答えること出来ません。
- 議員（10番 近藤 大介君） 議長。
- 議長（杉谷 洋一君） 近藤議員。
- 議員（10番 近藤 大介君） ひょっとしたら、ライセンス契約がないんじゃないですかね。ウェブ会議とかのね。それで、私もちょっと詳しく分かりませんが、ある？

〔 「議長」と発言する者あり 〕

- 議員（10番 近藤 大介君） あ、じゃあ、ちょっと待って後で聞くわ。2回目があれになってしまうんで。
- 議長（杉谷 洋一君） 2回目ですから。再度質問してください。
- 議員（10番 近藤 大介君） はい。副町長のほうからも答弁がありましたけれども、やっぱり、オンラインでできる会議は、西部地区でやる分だったりとかね、他の役場と合同でやるような会議はもちろんですけど、可能なものであれば、町民が参加するような会合であってももし可能であればどんどん、オンラインでの会議を進めていくべきじゃないかなと思うので、やっぱりそういう部分でのインフラ整備を必要だと思いますし、今回は、人材交流センターの関係で予算化されていますけれども、ライセンス契約だったり必要な、環境はどんどん整えていってほしいなと思います。

それから、児童館の遊具についてですけれども、下田中の児童館の複合化については、なかなか円滑に進んでいないようにも聞いています。結局、その辺の遊び場が実質、無くなって、そのままずるずるとないままの状態が長く続くのは余りよろしくないと思うので、複合化を進めるのであれば、早期に複合化をしていただきたいし、それから現状の遊具で遊ぶ子供が少ないっていうのは多分、遊んでもおもしろくないから遊ばないんだと思うので、やっぱり魅力のある遊具をつければ、それを目掛けて子供が来ると思うのでね。

そういった環境をどうしたらいいのかというのは、保護者だったり、関係者の話とかも聞きながら、今後どうするかというのはちょっと検討していくべきじゃないかなと思うんですけども、その辺りの認識を再度お尋ねいたします。

- 福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。
- 福祉介護課長（池山 大司君） 下田中児童館の複合化の検討状況ですが、年が明けてから進捗しております、現在は中山ふれあいセンターへの統合化を進めるということ

で、水面下のほうですが、今、協議のほう、引き続き継続しているところです。

で、遊具につきましては近藤議員さん仰るとおり、現在は敷地の問題ですとか、いろいろな問題がありまして、特に新しいものをつくるという予定はありませんが、関係者の方々と十分な協議をしながら、また必要であれば、検討のほうを進めていきたいと思っております。以上です。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） お答えします。

ライセンスの数、細かいところはまた後ほど出させていただきたいと思いますが、無料ライセンスだと、何 10 分したら切れちゃうとかそういうのがありますんで、今は順次有料ライセンスに切替えをしていこうということで取り組んでおりますので、引き続き、オンラインで会議ができる環境づくり、整備しっかりしていきたいというふうに思っています。

○議長（杉谷 洋一君） ほかに質疑ありませんか。

○議員（4 番 加藤 紀之君） はい、4 番

○議長（杉谷 洋一君） 4 番 加藤議員。

○議員（4 番 加藤 紀之君） 大山町内に泊まろう宿泊応援事業について、ちょっとお尋ねしたいと思いますが、夏と冬に、初冬というんですかね、に行われました町内施設を利用したツアー造成事業だったり、冬季町民向けモニターツアー事業ではですね、SNSでの発信というのが条件の中にありましたが、今回それが除かれてますけれども、除かれた理由が何なのかを教えてください。

それと、空気清浄機についてです。

二つの課で、統一されたものなのかどうかというのはちょっと分からなかったですけども、空気清浄機能の方式といいますか、新型コロナウイルスの不活化に科学的根拠があるものっていうのは、私が知る限り一つの方式しかなかったと思います。もしかしたら新たに、科学的に証明されたものがあるのかもしれませんが、統一された機能のもので、対象の容量というか、部屋の正常機能の容量が、ただ違うだけのものを買われるのかちょっとその辺を詳しく教えてください。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） はい、お答えいたします。

SNS、以前のモニターツアー2回につきましては、SNS発信をつけておりました。で、今回はつけておりませんですけども、以前の二つのモニターツアーで、やはり二つ折りの携帯、昔の携帯を使ってらっしゃる方もあってSNSがなかなか出来ないという方もございましたので、任意で行っていただいております。

今回も任意ではお願いしたいと思っておりますが、必須というところではございませんので、そこを御理解いただきたいと思ひますし、アンケートは皆さんに御記入いただくということで思っておりますので、御理解のほうよろしくお願ひします。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） ちょっと今、隣のほうでちょっと調整してみたんですが、全く同一のものかどうかまだちょっと判断出来ませんでした。ただ恐らく部屋の大きさによってのものだと思います。

因みに児童館のほうで用意するものは、静電気を使ってウイルスを除去するようなものでして、こちらのほうはウイルス除去ができるということで確認のほうをさせていただいてるところです。以上です。

○議員（4番 加藤 紀之君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 加藤議員。

○議員（4番 加藤 紀之君） 空気清浄機の件ですけど、私が知ってる清浄機能の方式で、新型コロナウイルスに効果があるものはプラズマクラスターです。それしか科学的な根拠はないはずですよ。

だとするならば、その他のウイルスに静電気を使って吸着して、空間除菌のようなことが可能かもしれませんが、新型コロナウイルスには余り意味がないのではないのかなと思ひますがいかがでしょうか。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） 加藤議員仰る通りプラズマクラスター機能搭載の空気清浄機でございます。

〔「分かりました」と発言する者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） ほかにありませんか。

○議員（7番 米本 隆記君） はい、7番。

○議長（杉谷 洋一君） 7番 米本議員。

○議員（7番 米本 隆記君） 1点、お聞かせください。新型コロナウイルスの接種事業なんですけど、これ接種順位っていうのが、医療従事者からずっと明記されておるんですけども、この辺のところ、大体、町内にどの程度の人数がおられるかっていうのは把握されてるといふふうに思ひますんで、1234、ちょっと大体どのぐらい人数おられるのか教えてください。

それと、集団接種の報償費なんですけど、これ民間の医師のほうに支払われるということでお聞きしましたけども、15歳以下は接種しないんだったかな。ですから、人数的に言ったら1万人を超えるような人が、また1万2000、3000人かな、対象になると思

うんですけど。

それにしても、民間の方々に接種をお願いするにいたしましても、自分の業務を置いて接種していただくってことになるのと、なかなかこの報償費がちょっと金額的に少ないんじゃないかなというふうにちょっと考えるんですが、これは、国の基準か何かがあって、決められたもんなのかっていうところをお聞かせください。

それと、先ほどからありますけど、「大山町に泊まろう大山町宿泊応援事業」なんですけど、これはまるっきり私は宿泊業者の方をお助けするっていうか、事業を手助けすることはいいことだと思うんですが、ちょっと質したいんですが、まず一つ目ですけど、食事が魅力になると、今回ののは何て言いますか、ただ泊まるだけですので、その旅館、宿泊場所探すにはやっぱり食事とかそういったものを見て選ばれるのが多くなるかというふうに思うところもあるんです。そうしたときに、やっぱりこの夕食はこういうのもんですよってことはやっぱりパンフレットとかそういうところにお聞きして載せられなければいけないんじゃないかなってというのが1点あります。

それともう1点なんですけど、1月20日ぐらいまでの間に8,700名以上のキャンセルがありましたってことだったんですが、実際、昨年でもありますね1月年末年始雪不足でもありましたし、コロナが蔓延しかけた時だったんですが、そのときにも、キャンセルが多かったというふうなことを聞いております。で1月の終わりか、2月の初めになって、旅館組合の組合長さんあたりから、議会のほうに陳情があったというふうに私は記憶して取んですが、昨年はどの程度のキャンセルがあったのかっていうことも、把握されておられましたら教えていただきたいと思えます。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） お答えいたします。

最初に、それぞれの区分の人数ですけども、医療従事者の方々が477人。これは総人口の3%ということで、国のほうが算定方法を示しております。

あと高齢者の方は6,292人、あと基礎疾患を有する方が64歳以下ですけども、1,003人それと高齢者施設等の従事者の方が238人ということで、これも算定方法は示されてまして、人口の1.5%ということとなっております。

それと報償費につきましてですが、町としまして、先生、看護師さんの単価を決めております。それは近隣市町村の状況を勘案して単価を決めさせていただきました。それに基つきまして、資料にもつけておりますけれども、70回集団接種を行うという計算で、積算した数字でございます。以上です。

○観光課長（徳永 貴君） 議長、観光課長。

○議長（杉谷 洋一君） 徳永観光課長。

○観光課長（徳永 貴君） はい、お答えさせていただきます。

手挙げをしていただいた旅館のパンフレットにそうした食事のメニューを載せたらどうかというところで御提案いただいたところですが、そういう具合に努めてまいりたいと思います。

それと、昨年のキャンセルとどうかということでございますが、去年は暖冬で、末年年始、キャンセルもあったかと思うんですけれども、今ちょっと手元に資料がございませんので、申し訳ありませんが、ちょっとお答えは控えさせていただきます。

○議員（7番 米本 隆記君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 米本議員。

○議員（7番 米本 隆記君） 接種事業についてお伺いしたいんですが、先ほどの集団接種の医師の謝礼については、町として近隣を見て決めておると言われますけども、やはり協力していただく民間のお医者さんについて、やはりその辺をやっぱり何て言いますかね、町のほうがこれだけですっていうふうなのか、例えばお医者さんのほうからでも、そうお話しされて、これでいいですよってことをもらっておられるのか、やはりその辺は自分の業、仕事っていいですか、その病院のほうを休まれるかなんかしてでないと多分1中、接種してもらえないと思うんですよね。そういったところの配慮が必要じゃないかと思うんですけど、その辺、お医者さんのほうとお話をされたのかどうかってことをお聞きしたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） まだいろいろ先生方とは単価、報酬についての金額につきましては、まだ御相談しておりません。

今後、御相談をしてお願いをしていきたいというふうに思っております。以上です。

○議員（7番 米本 隆記君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 米本議員。

○議員（7番 米本 隆記君） ということは、何ていいますかね、医者さんとの協議によつては、後から補正がまた出てくる可能性もあるってことで認識してよろしいですかね。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議員おっしゃいますように、そのような状況になりましたら、また、補正予算でも上程させていただきたいというふうに思います。

○議長（杉谷 洋一君） ほかに質疑ありませんか。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長、3番。

○議長（杉谷 洋一君） 3番 門脇議員。

○議員（3番 門脇 輝明君） すいません、ちょっと細かいことも何点か質問をさせて

いただきたいと思います。

まずですね、回答についてですけれども、できるだけ町民に分かりやすいように、答弁をいただければと思っております。

中身について、一つ、まずは繰越明許費についてですね、お伺いしたいと思います。新型コロナウイルス接種体制確保事業については、フルタイム会計年度任用職員の2人分の給料、職員手当共済費は、繰越明許にはなっておりません。ところが新型コロナウイルス接種事業には、パートタイム会計年度任用職員2人分の報酬、共済費が、繰越明許の中に含まれております。この違いは何によるもののでしょうか。

そしてそういったことを考えると、接種体制各事業に係るフルタイム会計年度任用職員や、令和3年度にほかで任用が必要であればまた別途予算を組まれるということなのか、いかがでしょうか。

そして、接種事業に係るパートタイム会計年度任用職員の任用期間についてはどのぐらいの期間を想定していらっしゃるのか、お伺いしておきたいと思います。

次に、デマンドバスの事業、説明書4ページに書いてありますけれども、町が運行委託しておりますデマンドバスに乗客と貨物を混載するために必要とあった消耗品というのは、具体的には何なのかと、委託をしておりますから委託料の増額でもないのかと考えますがいかがでしょうか。

そして、次はウェブ会議ライセンス使用料の件ですけれども、ホームページ等見ますと、ズームプロの1ライセンス分が、月当たり1,600円ですけれども、1契約とすると最低5ライセンスが必要になります。そういった形でその予算の積算はどういうふうになっているのかとお伺いしておきたいと思います。

そして先ほども質問があったんですけれども、町としてウェブ会議が可能なシステムがあるのかなのか、ということも含めて、あればそれを利用すればいいのではないかなと思います。例えば、学校のリモート授業の体制でそういったズームのライセンスは持っていないのか、ないとすればいざとなったときにリモート授業は出来ないという形になります。そして今使っていないのであれば、それを活用して、その会議ができるのではないか。こういうふうに思います。

また、西部地区の隣保館とのリモート会議をするとありますけれども、西部地区の隣保館数及び参加自治体の数は何か所あるのでしょうか。先ほど大山町が事務局というお話がありましたけれども、そういった部分、賃借料3万3,000円っていうのは、たぶんその各自治体で分担して支払っていく形になるのかというふうに類推をしたところがございますけれども、そうなのかということをお答えいただきたいと思います。

そして備品として、マイク付きカメラ3台でありますけれども、これは手持ちのビデオカメラ等で代用できるのではないか、出来ないのでしょうか、そういった検討はされたのか、お伺いをしたいと思います。

それから、先ほどからも出ておりましたけれども、児童福祉施設の遊具の撤去ですけれども、遊具の撤去費を、技術的な問題がありますけれども、撤去費を手数料で組むということに私としてはすごく違和感があります。なぜその手数料という形に予算を組まれたのか、お伺いをしておきたいと思います。

それから、空気清浄機ですけれども、12月の定例会でも何台か予算を組んで、また今回、追加で予算要求はされております。12月の時点で、空気清浄機はこれで終わりではないかなというふうな記憶があったわけですが、空気清浄機がなぜ12月の予算に組み込めなかったのか。

そして、今回の保育園の関係では、ひめぼたる保育所の空気清浄機が入っておりませんが、先ほど話があったように、3歳以上児の部屋の分だということで、3歳未満児の部屋についてはもう既にその予算の中に入っているということです。説明がありました。そして、これでそれで全部済むのかということを確認しておきたいと思います。例えば、小学校・中学校の空気清浄機は、これは全部整理を出来ているわけでしょうか。

そしてですね、コロナのワクチンの関係ですけれども、先ほど医師の体制も質問があったわけですが、ちょっと私の聞き間違いかもしれませんけれども、町の診療所等の先生方をお願いをするというふうな話があったように記憶をしておりますけれども、したら、その町の診療所の先生が接種に関わられた時、町の診療所の通常の診療はどうなるのかな、そういうことはどういうふうに考えていらっしゃるのかと、お伺いしておきたいと思います。

そしてワクチンのほかに関わるディープフリーザーの電気機械設置手数料が予算化されておりますけれども、このディープフリーザーっていうのは、ワクチンを極低温で保管できる冷凍庫のことだと思いますけれども、この回線設置手数料っていうのは、撤去費等も考えていらっしゃるのか。これも手数料ということでなしに、やっぱり委託料のほうが適切ではないかというふうに考えますがいかがでしょうか。

そして賃借料の中でデマンドバスについて、近藤議員が質問されておりましたけれども、答えがなかったようなので、運行計画、そしてこの借上料の積算基礎っていうのは、どのようになっておりますでしょうか。お伺いをしたいと思います。

最後ですけれども、ちょっとまあどうでもいい質問になるかもしれませんが、今さらながらですけれども、確認をしておきたいと思います。

職員数についてです。補正後の職員数が、12ページのところには478(174)というふうになっておりますけれども、職員の総数は652人、両方足した652人ということでしょうか、お伺いをしておきたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） お答えいたします。

最初に、繰越の関係でございますけれども、フルタイムの職員につきましては、今年度中の手当を組んでおりますので、これについては繰越はしないということで、繰越はしないようにしております。パートタイム職員につきましては、集団接種の補助員という想定で予算を組まさせていただきました。

これは今年度から来年度にかけて行うものでして、そういった意味合いで、繰越をさせていただいておるところでございます。

続きましてフルタイムの職員さんの件ですけれども、先ほど申しましたとおり今年度の予算ということですので、令和3年度につきましては改めて当初予算で計上させていただきたいというふうに考えております。

またパートタイムの職員さんにつきましてはですけれども、先ほど言いましたように集団接種の期間を想定しております。まだスケジュール等は決まっておりませんが、想定としましては、そのスケジュールに合わせた集団接種の期間に合わせての任用期間を考えております。

続いて、直診の先生も集団接種に協力をしていただくように今、考えておりますけれども、その場合ですが、協力していただく、まず一つは診療されてない時間も考えております。土曜日でありましたり日曜日、また平日につきましては、必要に応じては休診をさせていただくなり、代診ということもあろうかと思っておりますけれども、その都度その都度で、その状況でどうさせてもらうかは決めていきたいというふうに考えております。

あとフリーザーの電源の手数料でございますけれども、これにつきましては、最初に処分ということは考えておりませんで、あくまで今の電気系統ではフリーザーの電源に合わないという部分がございますので、それを合わせるような電気系統の設置を行うというのですが、そういった接種の手数料としてやっていくというものでございます。

あとデマンドバスの積算根拠でございますけれども、町内移動していただくのに最大で1,500円個人負担が生じますので、1,500円で対象者数としましては、外出支援なり、タクシー助成を受けられてる方、人数としましては、250人を想定して積算をしております。以上です。

○企画課長（源光 靖君） 議長、企画課長。

○議長（杉谷 洋一君） 源光企画課長。

○企画課長（源光 靖君） 私のほうからデマンドバス事業の消耗品について御質問があったと思いますのでお答えいたします。

こちらですが、おっしゃいますとおり、貨客混載事業に伴います予算補正でございますが、貨客混載11月から行っているところですが、運用していく中で本来は当初に必要なものということで挙げないといけなかったと思いますが、例えば安全で効率的な運搬のためにということで、コンテナボックスでありますとか、あとは住宅地図がそれぞれ車両に1冊ずつ要るだろうというようなところでのこのたび補正計上をしているところ

ろであります。

また委託料の増で対応では、ということでのお問合せがあったかと思いますが、そういうやり方での対応も可能かと思いますが、このたびは、町のほうで消耗品入れ購入をいたしまして、事業者のほうに貸与という形で考えておりますので、御理解いただければと思います。

○福祉介護課長（池山 大司君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 池山福祉介護課長。

○福祉介護課長（池山 大司君） ウェブ会議カメラに関連しましてお答えしたいと思います。

まずズームプロのライセンス数ですが、こちらは1ライセンスで予算計上させていただいております。ほかの接続端末につきましては、ホストがこのライセンスを使って、残りが接続するという形で各隣保館が接続するという形を想定しております。で、西部地区の7市町村で対応していくんですが、これを分担金という扱いではなくて、その事務局を持った自治体がこのホストになるライセンスのほうを用意するという事で合意をしておりますので、今回事務局が当たっております本町としてはそれを用意させていただくという形になります。

マイク付きカメラのほうですが、ビデオカメラで代用出来ないかどうかということですが、こちらはですね実は広角カメラを使っております。研修になりますと、パソコンの前にするのが1人というわけではなくて、場合によっては職員が3人横に並んだりとかいうこともありますので、そういった部分で、ちょっと広くとれるようなもの、そして、リモート研修をして分かったんですが、どうしてもマイクの性能が悪いと音をうまく拾えてなくてですね、相手の方に、うまく伝わらないという事象が多々発生しておりましたので、そこを改善するためにも外づけのきちんとした、マイク付きのものを用意させていただくという形にしております。

それから遊具の撤去費につきましてですが、こちらのほうは撤去に係る労務費等もあるんですが、産業廃棄とかですね、処分費のほうが主な形になってきますので、手数料のほうで組ませていただいているところです。

空気清浄機につきましては、12月補正ですすなろ児童館のほうを挙げさせていただきました。主に放課後児童クラブの利用者さんのことを考えまして、させていただいたんですが、状況を見ながら対応をしていましたところ、やはり各児童館のほうでも従来感はやっぱり必要だということで、今回追加で計上させていただいたところです。以上です。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 幼児学校教育課長。

○議長（杉谷 洋一君） 田中幼児学校教育課長。

○幼児学校教育課長（田中 真弓君） 保育所の空気清浄機につきましては、基本は換気

をしっかりと行うこととしておりましたけれども、湿度のほうはどうしても低くなりがちになりますので、空気清浄機のほうを補助的に使用してみたいと考えております。また大山ひめぼたる保育園の分につきましては、建設準備費用のほうから購入する予定にしております。以上です。

○教育次長（前田 繁之君） 議長、教育次長。

○議長（杉谷 洋一君） 前田教育次長。

○教育次長（前田 繁之君） 小中学校への空気清浄機の整備ですけれども、現在のところは考えておりません。

文部科学省が推奨している常時の換気、もしくは1時間で1、2回の換気、密にならない状態をつくること、マスクの着用、この方針に従って対策をとっております。以上です。

○議長（杉谷 洋一君） 答弁漏れがありますか、まだ。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 門脇議員、2問目、2回目。

○議員（3番 門脇 輝明君） 大体、分かりました。医師の確保については、具体的に、しっかり通常の診療が滞らないように、よく相談していただきたいと思いますが、その辺のところも、町民の心配されておられるところですから、情報については、しっかりまた広報をしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

そして、ライセンスについて、ちょっと答弁がなかったんですけど2問目としてでいいですけども、学校のリモート授業をするためのライセンス等は、まだ確保、要するに契約がしてないのでしょうか、あるいはその準備はしておられるのでしょうか、お伺いをしたいと思います。

手数料の関係です。撤去費の手数料の関係ですけれども、処分費が主になるので、手数料でやるということですが、そういった考え方もあるでしょうけれども、この予算の計上については、それぞれの自治体で節、区分を明確にして、そして必要な部分については、説明で確定するようになって、総務省のほうから指示をされております。それを読んでみますと、手数料の説明の中にですね、工作物等除却に要する経費で工事費に至らないもの等を説明として大山町として書いてあるならいいと思うんですけども、そういったものがあるかどうか。そして総務省の節区分によりますと、工事請負費の説明の中には、土地工作物等の造成、または製造及び改造の工事並びに工作物等の除去の工事等に要する経費で契約によるもの、こういうふうに書いてあります。

そして、需用費の修繕費の説明には、備品の修繕もしくは、備品または船舶航空機等の部品の取替えの費用及び家屋等の小修繕で工事費に至らないものとあります。ここにある、家屋等の小修繕の説明の趣旨を酌んで考えますと、これは工作物の除却も組むもの、とこういうふう解釈するのが自然ではないかなと思います。

そしてその節区分の備考のところですね、節及びその説明に明らかでない経費については、当該経費の性質により類似の節に区分整理することとなっております。そして、その3には、歳出予算を配当するときは、款、項、目、節の他、必要に応じて節の説明により、これを行うことができるというふうに書いてありますけども、この説明により、できるというのは、フリーハンドで自由にできるということではなくて、その節及びその説明に明らかでない経費である等の具体的な根拠が必要だと考えます。

本件の内容は明らかに工作物等の除却でありまして、通常は工事請負費、修繕料、もしくは委託料として配当されるべきではないかと思えます。さっき、処分費が主であるからということですがけれども、処分費と役務を加えた委託料とか、あるいは修繕料とか工事請負費というふうなのが適切ではないかなというふうに思います。

町の説明も一部分からなくはありませんけれども、そういう形でしっかり根拠に基づく仕事をするのがコンプライアンスに通ずるものと考えますので、今後またしっかり見直して、考えて検討していただけることはできるかどうか、お伺いしておきたいと思えます。以上です。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 直診の診療所の関係でございますけども、議員言われましたことを踏まえまして、診療所なりと相談して対応を決めていきたいというふうに思えます。

その結果につきましては、町民の方には当然お知らせをするというふうにさせていただきます。以上です。

○教育次長（前田 繁之君） 議長、教育次長。

○議長（杉谷 洋一君） 前田教育次長。

○教育次長（前田 繁之君） 学校のリモート授業に関して御説明します。

現在、教育委員会で考えているのが、12月にタブレットが各学校に整備されましたけども、その中にタブレットドリルというドリル教材があります。それから、現在契約してまだ未執行ですけども、スララという教材も使えます。ですので、カメラを使った授業っていうのは考えておりませんで、タブレットを通して、その映像とかテストを見ながら学習するという方向ですので、御理解ください。以上です。

○財務課長（金田 茂之君） 議長、財務課長。

○議長（杉谷 洋一君） 金田財務課長。

○財務課長（金田 茂之君） 手数料の関係でお答えをさせていただきたいというふうに思えます。

確かに議員おっしゃいます通り、撤去をにつきましては委託料なのか手数料なのか、あるいはその電気回線の設置につきましては、修繕なのか手数料なのかということはある

ろうかと思えます。

本町といたしまして修繕料につきましては、同等の機能に戻すという意味合いが大きいものについて修繕、で、工事につきましては、機能強化なり新しく設置するものにつきましては工事請負費という位置づけでこれまで予算計上させていただいております。

このたびにつきましては、中身を見ますと人件費っていいですか、役務の提供の部分が大きいというふうに判断をしておるところでありまして、したがって、手数料でこのたびは組ませていただいたところでありまして。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 門脇議員。

○議員（3番 門脇 輝明君） ウェブ会議のところですね、リモート授業については、要するに家庭での学習は考えていないというふうに理解してよろしいでしょうか。学校の中だけでやるというふうな、そういった構想で今、タブレットは進んでいるというふうに理解していいでしょうか。

○教育次長（前田 繁之君） 議長、教育次長。

○議長（杉谷 洋一君） 前田教育次長。

○教育次長（前田 繁之君） お答えします。

現在のところ、各家庭のネット環境が整っていない家庭が約3割ありますので、現時点では家に持ち帰って、リモートで学習するっていうことはなかなか難しいのではないかと考えておりますが、もし去年の3月のような状況になれば、手段としては学校で密にならない状況をつくりながらのタブレットを使った学習、もしくは各公民館の、現在は整備してあるWi-Fi環境を使って、子供たちを1か所に集めない形での学習は検討しているところです。以上です。

○議長（杉谷 洋一君） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第1号を採決します。お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（杉谷 洋一君） 起立多数です。

したがって議案第1号を原案のとおり可決されました。

○議長（杉谷 洋一君） 日程第4、議案第2号 令和2年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算第2号を議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） 議案第2号 令和2年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算第2号については、厚生労働省より個人番号カード取得促進についての実施行政と財政支援が示され、本町においては、保健事業の通いの場報を活用して、個人番号カード取得促進を図ることとしたため、事業実施に必要な申請補助端末を購入するものです。規定の歳入歳出予算にそれぞれ66万4,000円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ2億2,362万5,000円とするものです。

以上で提案理由の説明を終わります。

○議長（杉谷 洋一君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。

○議員（4番 加藤 紀之君） 議長、4番。

○議長（杉谷 洋一君） 4番 加藤議員。

○議員（4番 加藤 紀之君） この特別会計で、個人番号申請補助端末を購入されるということはですね、特別会計の中で行われる事業でしか使わないということでしょうか確認をしたいと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） この端末の利用ですけれども、主に高齢者の方が集まります集いの場を通じまして、マイナンバーカードの取得促進を図っていきたいというふうに思っておりますので、主にそういった場面での活用を想定、計画しております。

以上です。

○議長（杉谷 洋一君） はい、よろしいですか。ほかにありませんか。

○議員（9番 野口 昌作君） 議長、9番。

○議長（杉谷 洋一君） 9番 野口議員。

○議員（9番 野口 昌作君） これのですね、提案理由の中で、国のほうからのそういうような促進ですか、そういう特別な事業の中でこれを出したということがありましたけど、今マイナンバーのことについていろいろと促進するようなことがPRされているわけですが、後期高齢者の関係、今まあそろそろになるわけでございますけれども、そもそもですね、これは国が推してきたと。PRしてやってくれということを書いてくる。町のほうでは、積極的にそれを進める考えでなかったけれども、国が言ってくるので、やるというような考えだと思いますけれども、やるにあたってはですね、町としてはどういようなことに利用させる、といういような考え方でですね、やられるか、私もマイナンバーのカードを持っておりませんが、何ら使うことがない、という捉え方をしておりますけれども、そういうことについてはどういようなものでしょうか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） マイナンバーカードですけれども、どういうふうというお話がありましたのですが、ちょっと先ほど繰り返しになりますけれども、高齢者の方の、例えば老人クラブの集まりでありましたり、健康対策課でも、健康教育で高齢者の方々に集まっていたり場面もございます。そういった場面で、この端末を活用しましてマイナンバーの取得を推進したいと、推進していくというものでございます。

それで合わせますと、今年の3月から今の予定ですと、医療機関でのオンライン資格確認が始まります。そのこともありまして、国のほうもマイナンバーの普及を進めているというようなことでございます。以上です。

○議長（杉谷 洋一君） よろしいですか。ほかに質疑はないですか。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長、3番。

○議長（杉谷 洋一君） 3番 門脇議員

○議員（3番 門脇 輝明君） お伺いたいと思います。

ちょっと説明は、使う場面の説明があったんですけども、この個人番号申請補助端末というのは、どういう機能を持つものなのでしょうか。ちょっと理解出来ないんで簡潔明瞭にお答えいただければと思います。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） カードリーダーも付いていまして、マイナンバーをつくる時に、写真も必要なわけですけども、写真を撮った上で、カードリーダーを活用しまして、例えば運転免許証とか、そういったもので本人の確認をしまして、それをマイナンバーカードの作成につなげるというような機能を持った端末でございます。以上です。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 門脇議員。

○議員（3番 門脇 輝明君） 説明をお聞きしますと、要するに運転免許証等を持っていらっしゃれば、運転免許証に埋め込まれたICカードを読み取って本人確認をして、マイナンバーカードの申請をする、そのための要するに端末であるというふうに理解をしましたがけれども、この端末を活用して事業を実施していくのは、年間どのぐらいを想定されていますでしょうか。

例えば、その空いた時間に役場の本庁なり何なりでそれを活用してマイナンバーカードの普及促進に使うということは出来ないのでしょうか。そういったことができるならば、この特別会計で組むよりも一般会計で組んだほうがいいのかと思うところですけどいかがですか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） このたびの補助制度は、後期高齢医療の広域連合から、交付されるものでございます。それと合わせまして、繰り返しになりますけども、高齢者の方の集いの場ということもございます。年間どれぐらい行われますかということですけども、健康対策課の事業としまして、令和元年度の健康教育の実績としましては17回、年間行っております。

そういった面でも活用できるかなというふうに思いますが、主な目的としましては、そういった場面ですけども、通常ですね、おっしゃいますように通常の空いた時間でも、それぐらいの方々への普及にも活用ができるというふうには思っております。

以上です。

○議員（3番 門脇 輝明君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 門脇議員

○議員（3番 門脇 輝明君） 補助金があるからこの特別会計で組んだというふうに、ちょっと言われたように思ったんですけども、補助金っていうか、そういったものであっても、一般会計で組めないことはないのではないかと思います。そして、年間の活用回数が20回弱だということであれば、主として、健康対策課ですか、すいません。そちらの健康福祉センターのほうにあるよりも、本庁のほうにメインとしてあるほうがいいのかと、活用ができるんじゃないかなと思いますけども、その辺の置き場所等についてはどのように考えておられますか。

○健康対策課長（末次 四郎君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次健康対策課長。

○健康対策課長（末次 四郎君） 置場所のお話がありました。置場所につきましては住民課で設置といいますか、所有して活用するというふうな予定でございます。

それで先ほどから言っております、その集いの場ですけども、そういった場面に住民課の職員が出向いて、カードの取得促進に活用するというふうに考えております。

以上です。

○議長（杉谷 洋一君） ほかに質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認めこれで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第2号を採決します。お諮りします。

本案を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（杉谷 洋一君） 起立多数です。

したがって議案第 2 号は原案のとおり可決されました。

日程第 5 議案第 3 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 5、議案第 3 号 令和 2 年度大山町介護保険特別会計補正予算第 5 号を議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口大紀町長。

○町長（竹口 大紀君） 議案第 3 号 令和 2 年度大山町介護保険特別会計補正予算第 5 号については、居宅介護住宅改修費補助金の追加の必要が生じたことにより、既定の歳入歳出予算にそれぞれ 36 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 23 億 1,640 万 9,000 円とするものであります。

以上で提案理由の説明を終わります。

○議長（杉谷 洋一君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） はい、討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 3 号を採決します。お諮りします。

本案を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（杉谷 洋一君） 起立多数です。

よって議案第 3 号は原案のとおり可決されました。

閉会宣告

○議長（杉谷 洋一君） これで本臨時会の会議に付された事件は全部終了しました。会議を閉じます。

令和 3 年第 1 回大山町議会臨時会を閉会します。

○局長（持田 隆昌君） 互礼を行います。ご起立ください。一同礼。お疲れさまでした。

午前 11 時 57 分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 杉谷 洋一

署名議員 加藤 紀之

署名議員 大原 広巳